

平成 28 年 3 月 4 日

大山町議会議長 野口 俊明 様

議席番号 6 番 大山町議会議員 米本 隆記



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 農産物処理加工所の今後の見通しは</p> <p>平成 23 年から稼働したこの施設は、恵みの里公社に運営をしていただきました。稼働から 2 年間は緊急雇用対策によって年間 2000 万円もの交付金が手当てされそれなりの利益も確保されるはずでした。しかし、実際は利益どころかそれを使ってやっとの事で決算をしていました。その後は合併振興基金を投入するなど、予算措置を続けてきたのは事実です。もう足かけ 6 年経過し、そろそろ今後を考える時期ではないでしょうか。施設の今後の利用方法について町長の考えを伺います。</p> <p>少なくとも建設費、毎年度の野菜・根採類・肉類の使用料と加工品販売高、売り上げ順位は用意しておいてください。</p>	町長
<p>2. 山香荘の活用は。</p> <p>夕陽の丘神田。聞こえはいいがまるで金食い虫のようではありません。何故このような言い方をするのか。最初は人工芝の多目的グラウンドと天然芝のグラウンドの整備が主のはずでした。サッカー協会と toto からの補助金で建設しましたのでサッカー協会の事務をする机が置けるスペースがあればよいとの担当者の言葉だったと記憶しています。まして、大山寺の旅館組合からは合宿者が多くなるからとの意見も議会に寄せられていたと思っています。そもそも人工芝の多目的グラウンドに改修したのは、毎年一般会計から指定管理や修繕費などで約 1000 万から 1500 万円の繰り出しがあったからではないですか。それが削減できないのならば、以前となんら変わらないと言う事になります。以前と変わったのは町民が利用しにくくなった事と、サッカーで来場者が増えたことです。ただし、消費に繋がるかは限定的です。この先も現状が続くようであってはいけないと考えますが、町長の考えを伺います。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。